Alloy Therapeutics®

Alloy Therapeutics Japan

NQ版COO人材育成プログラム
2026年度 第2期受講生募集

Global BioPharmaで培ってきた**技術・ネットワーク・ノウハウ**を

Nakanoshima Qrossに導入し

日本の国民性に合ったベンチャーイノベーションを

皆様と共に作り上げていきます

会社概要

Alloy Therapeuticsは皆様の創薬をコンセプトからヒトデータまで推進する「Product Development Organization」です。日本法人の立ち上げより国内の創薬エコシステムに貢献して参りました

創薬支援	開発支援	Solutions	Insights
抗体・バイオ医薬品 核酸医薬 細胞治療・薬理	開発コンサルティング 抗体製造 (CDMO) 治験サポート	Vigilance (米国) 海外エコシステム 財団・ベンチャー教育	Human in the Loop 徹底としたAI創薬 自動化システム事業

会社名	Alloy Therapeutics Inc.
設立	2017年・実働2019年
社員数	170名
開発拠点	アメリカ・英国・スイス・日本に5つの拠点
事業内容	PDO事業：バイオ医薬品の創薬から治験薬の製造・臨床開発の包括支援 ベンチャー蘇生・起業家育成・エコシステム支援事業
日本支社	Alloy Therapeutics 株式会社 神奈川県藤沢市村岡東2-26-1 (湘南アイパーク)
資本金・企業価値	$174m (Paid in Capital); $1.050b Post Valuation^
主力投資家	Ulysees Diversified Holdings, 8VC, Mubadala Investment Co, Thiel Capital, Presight Capital, Echo Capital, 産業革新投資機構 (JIC-VGI)

COPYRIGHT © 2026

上記データはPitchbookより引用 *2025年5月現在; ^2026年6月



自らが1,000億ドルのメガファーマになるのではなく、

新薬の開発に成功するベンチャーを100社育てたい

バイオテック業界で「勝ち組」の治療薬は様々な知財・独占技術によって支えられてきました。そのライセンスには高額な一時金などが必要で、大手製薬会社やCash Richなバイオテテックのみにアクセスが可能でした。Alloyはこの様な「飛び道具」を揃え、アカデミアや小さなバイオテックでもアクセスが可能なビジネスモデルで一つでも多くの治療薬を臨床に、そして患者様に届けることを本業としております

Alloy Japanは今まで日本のエコシステムで得られなかった「飛び道具」をお届けします

ケーススタディー

バイオテックを支援： Dren Bioとの提携

Dren Bioの創業者たちを紹介された当時、彼らは最初の資金調達ラウンドの真っ最中で、手頃な価格で機動力のある**抗体創薬パートナー**を探していました。最初はATX-Gxマウスプラットフォームのライセンス取得から始まりましたが、最終的にDren Bioのチームは**作業を直接Alloyに移管**し、2020年初頭に開始された当社の**抗体創薬サービスの最初の顧客**の一つとなりました。

With $1B already in for Dren Bio, **Pfizer** adds to pile in $65M financing

Jun 14, 2022

Novartis hopes for better luck with bispecifics via $150M upfront Dren Bio deal

Jul 24, 2024

Sanofi pays $600M upfront for Dren Bio's bispecific in latest immunology play

Mar 20, 2025

Alloy Discovery Servicesは、信頼できるパートナーであり、私たちの**チームの一部として活躍**し、現在では当社のEnhanced ADCC Programにおけるリード候補治療薬となった抗体に大きく貢献してくれました

*Nenad Tomasevic, PhD, Dren Bio*の創業者・*CEO*

https://alloytx.com/discovering-novel-therapeutics/
https://www.fiercebiotech.com/biotech/pfizer-joins-dren-bio-investors-65m-series-after-1b-oncology-collab-biotech
https://www.fiercebiotech.com/biotech/new-growth-novartis-pharma-announces-partnership-dren-bio
https://www.fiercebiotech.com/biotech/sanofi-pens-19b-deal-dren-bios-bispecific-latest-immunology-play

COPYRIGHT © 2026 | This document is a translation of the original document in English. In the event of differences in interpretation, the English version will supersede the Japanese

事業開始から7年目：個別のバイオテックから大手製薬会社に展開

>220	>118	$2.5B USD
拡大し続けるパートナーネットワーク	進行中の共同創薬プログラム数	Alloyライセンスパートナーの資金調達の総額
18	25	170
世界のトップ製薬企業もAlloyと提携	パートナーが提出したINDの実績 (2019から)	従業員数

アカデミアから製薬会社まで様々なパートナーとの信頼関係を築き、その協業を通じて数々の創薬の臨床入りを実現してきました

COPYRIGHT © 2026

82VS Venture Studios：Alloyのもう一つの側面

One Company

Alloy Therapeutics®

Empowers drug discovery across 6 biologic modalities with platforms and services

100 Companies

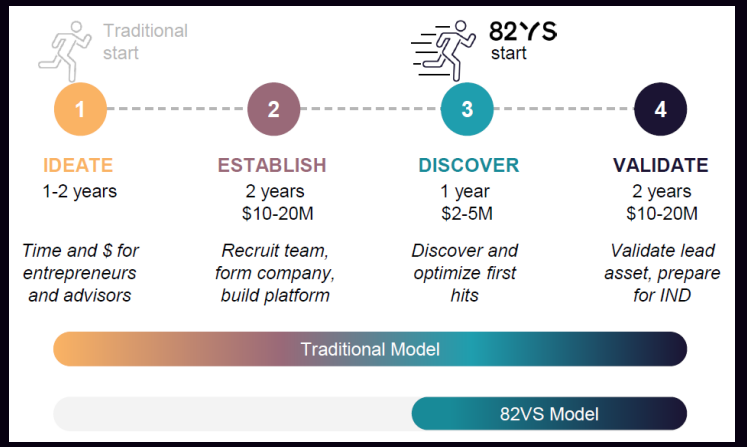
82VS

Enables experienced drug hunters and investors to build the most efficient companies

Alloyの**技術基盤にフルアクセス**が得られる環境で**ベンチャーを起業する**82VS Venture Studios



「**82**」は周期表で「**鉛**」・82VSのメンバーは自らが光るのではなく、**黒子に徹する実業家**の集団です



技術基盤のアクセスは通常のバイオテックに対してより**早く・コスト効率的に起業**が可能

【課題】：通常のバイオテックは立ち上がりからメンバーを雇用し、またラボを立ち上げると初日からコストが発生します
レベルの高い創薬を行うためには優れた陣営が必要であり、創業時のメンバー集めはボストンでも苦労が絶えません
【解決】：Alloyは創薬支援（CRO）事業の外に創薬ベンチャーの企画・運営・資金調達を行う部隊、82VS Venture Studiosを設立
【実績】：2021の立ち上げから４年目で、延べ**14社を設立**、その**半数が外部資金調達に成功**、その**第一号がファーマに買収**されました
・2023年にFoundry事業を立ち上げ業界が必要とする**共通の抗体・バインダーの創薬**を行い「起業予備軍」として用意します
・2025年の夏に82VS Venture Studiosに特化した投資を行う**Seed Fundを立ち上げ**、起業・運営以外に投資運用も加わりました
【今後】：Alloy Therapeuticsの根幹事業の一つとして起業・投資を通じて**グローバルのVC・ファーマネットワーク**の強化に勤めます

82VS Venture Studios: グローバル創薬エコシステムでの実績

Select portfolio below. *Licensed/Acquired*, *Series A*, *Seed*, *Pre-seed*

Broadwing Bio
INDICATION: Ophthalmology | MODALITY: Antibody

EPANA BIO
INDICATION: Autoimmune | MODALITY: Bispecific

HumanBio
INDICATION: Multiple | MODALITY: Antibody

Arpelos Biosciences
INDICATION: Autoimmune | MODALITY: Bispecific

EletheraBio
INDICATION: Autoimmune | MODALITY: Bispecific

VORO THERAPEUTICS
INDICATION: Oncology | MODALITY: Bispecific

Ypsilon THERAPEUTICS
INDICATION: Oncology | MODALITY: TCRm

Aakha Biologics
INDICATION: Oncology | MODALITY: Bispecific

CANTAI Therapeutics
INDICATION: Autoimmune | MODALITY: Bispecific

Overture Therapeutics
INDICATION: Obesity | MODALITY: Antibody

aldebaran therapeutics
INDICATION: Ophthalmology | MODALITY: Gen Med

CMT Research Foundation
82VS
NewCo Launching Soon
INDICATION: Neuroscience | MODALITY: AOC

TAHOE
82VS
NewCo Launching Soon
INDICATION: Oncology | MODALITY: ADC

MultiOmic
82VS
NewCo Launching Soon
INDICATION: Renal | MODALITY: Antibody

82VS
NewCo Launching Soon
INDICATION: Autoimmune | MODALITY: Degraders

Gen Med = Genetic Medicines; AOC = antibody oligo conjugates
Independent assets in 82VS Foundry also available for out-license

COPYRIGHT © 2026

Alloy Therapeutics

Alloy は日本の創薬エコシステムが必要としている技術基盤・ネットワーク・ノウハウをVCを含むGlobal BioPharma市場で培ってきました

COPYRIGHT © 2026

ボストンから見た日本：機会と課題



4位
GDPに基づく
経済の規模

25万人
バイオ関連の
研究者人口

1.5兆円
国内製薬業界
の研究開発予算

日本は数々の**ノーベル賞受賞者**や**歴代のブロックバスター新薬**を輩出してくるもグローバルのバイオ産業と「**かみ合っていない**」印象も伺えます

- 業界としてBiologics・**抗体関連治療薬で遅れをとってしまった**。日本のエコシステムでは最先端の創薬技術へのアクセスが乏しく、初期臨床治験を支えるCDMOが無い
- 日本の技術要員は安定しており、データの安全性も質も高い。ここ数年で日本の技術員は**労働コストでインドや中国の上位と並んだ**
- アメリカを中心に臨床治験コストは高騰しており、改善の兆しも見えない。それに対して日本では**リーズナブルなコストで高品質の治験**が可能

Alloyが日本の潜在的な強みを活かす仕組みを創り出すエコシステムが構築できればグローバルの創薬に大きな貢献ができます

DRAFT FOR DISCUSSION PURPOSES ONLY

日本のエコシステムへのコミット

Alloy Japanの設立以来、当社は日本のエコシステムのステークホルダーと面談を交わし、ご指導頂きました



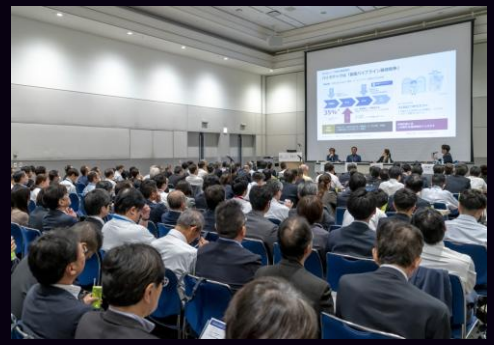
湘南iParkでAlloy Therapeutics Japanとして**2025年４月にローンチ**



迫井正深医務技監・厚労省・経産省の皆様が**Alloy Boston本社**を訪問



JP Morgan 2026
国内投資家ファーマで集まった**アフターの会**



BioJapan 2026
創薬エコシステムの現況を議論するランチョンセミナー



BioJapan 2026の最終日
海外・国内の産官学を引き合わせる**Biosecurity Dinner**

日本のエコシステム関係者からのフィードバック

技術基盤	日本に不足しているグローバル水準の抗体創薬技術をAlloyは補うことができるのでアカデミアや中堅ファーマの支援にご要望
Venture Studios	日本の起業家が海外資金調達に必要なコンセプト選びやネットワークがあり今後創薬クラスター支援事業などの支援に参加を予定
日本へのコミット	日本の研究者の雇用・本社のメンバーに日本語教育の推進など総じて好評

Alloy Japanは**パートナーと共に具体的な活動**に邁進して行きます

DRAFT FOR DISCUSSION PURPOSES ONLY

NQ版COO人材育成プログラム：第1期の実績

2026年12月ー2027年2月に大阪府・NQ-Gateway企画のもとプログラムを実施しました



20名	4名
第1期の採択者数	スタートアップ への参画・起業準備

修了生のその後（事例）

前職：**総合商社・事業会社**
大学発バイオテックスタートアップに、共同創業者兼COOとして参画

前職：**ファンド・投資家**
スタートアップに転職、エコシステムの横連携に貢献

前職：**総合商社・ 事業会社**
自ら社内で働きかけ、創薬ベンチャーへ出向。グローバル展開を支援

前職：**ファンド・投資家**
投資の仕事を続けながら、スタートアップの起業を準備中

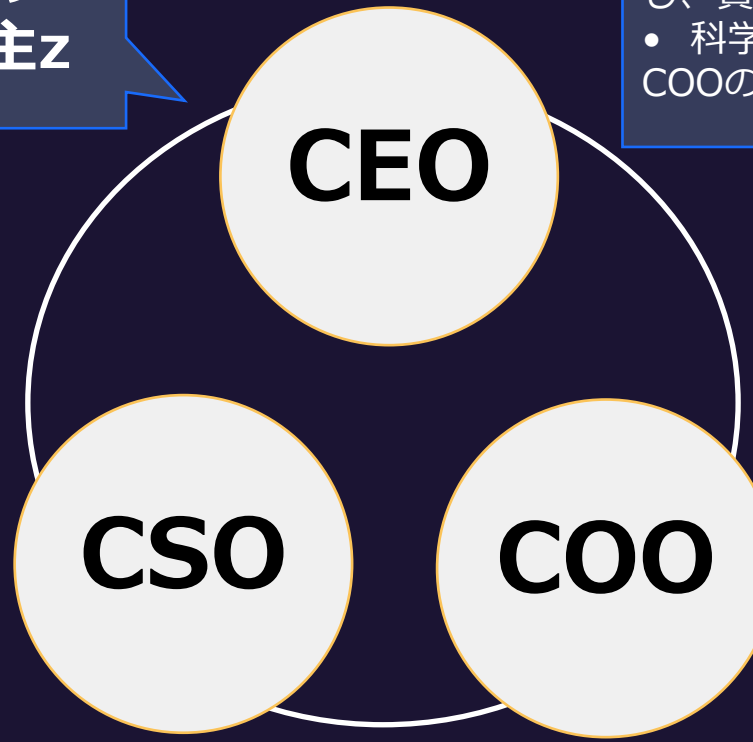
COPYRIGHT © 2026

※2026年9月時点で運営事務局が把握している動向

Alloy 82VS Venture Studiosが信じる「COO」と言う役職

最もチャーミング
ビジョンの持ち主z

- 投資家との人脈と実業家としての実績を有し、資金調達に必要な「信用」を会社に提供
- 科学とビジネスの両方に精通し、CSOとCOOの関係を取り持つ



誰よりもアタマいい
科学領域の開拓者

・特定分野で実績を積み上げた権威
・大型の投資に見合うスターパワー
・臨床と市場のニーズと当該技術に関係性をストーリー化する

絶対にあきらめない
努力家

- 企業立ち上げ、運営に関する全ての業務を遂行する
- 専門家にゆだねることができない全ての業務を一手に請け負う

*Defined as Series A financing

Confidential Copyright © 2026

Nakanoshima Qross版 COO 育成プログラム

概要	• ３ヶ月間の社会人向け研修プログラム • ３回に渡る1泊2日（1.5日間）の「合宿」 • 平日の業務時間外にオンライン授業（60分）
受講生	20名の受講生・傍聴生のオプションあり
対象	a)バイオテック領域スタートアップにてビジネス開発・運営業務に従事している方 b)バイオテック領域において起業に興味・関心を有する下記条件のいずれかに合致する方 　• アカデミアや製薬会社で一定の学術経験を積み上げた研究者 　• 製薬業界・一般事業会社で一定の業務経験を積み上げたビジネスパーソン 　• コンサル・金融業界で一定の業務経験を積み上げたビジネスパーソン • ※Nakanoshima Qrossに入居済、入居予定のスタートアップに関与される意欲のある方が望ましい
講義内容	• 創薬ベンチャーを原型としたバイオテックの起業と運営 • Focus on Ideation to Series A Financing
講義のモダリティー	• 受講生同士のディスカッションを促すケースメソッド • BioPharma産業で功績を挙げれた方々とのパネルなど • 業界のプロによる講義（プレゼン形式） • AlloyのAI支援スクリーニングツールを用いた、投資家目線の事業性評価の実践
期待するアウトプット	中之島Qrossを中心とした創薬エコシステムの強化 修了生コミュニティの形成と、ライフサイエンス分野のスタートアップとの接点づくり

創薬ベンチャーへの伴奏支援に関っており、「**良い縁があれば飛び込んでみたい**」
既にベンチャーに関わっていて「**勝ちに行く為のスキルアップ**」を求める方々

COPYRIGHT © 2026

Nakanoshima Qross版 COO 育成プログラム Season 2

	第１回合宿	第２回合宿	第３回合宿
テーマ	**TPPを軸にした事業設計**	**信頼を得る・投資家を理解する**	**成功への道筋とCOOの覚悟**
ケーススタディー	「相手にされない」を乗り越える	企業として「信頼を得る」	バイオ業界のキャリアを進める
講義	社会に求められている創薬・TPPの概念 製薬業界から見た創薬エコシステム	経営チームづくりとソフトスキル VCファンドの仕組み・VCの都合 VCから資金調達が得られるまで	金融市場が必要とするベンチャー VCファンドから見た創薬エコシステム 対談・コミュニティの時間・修了
スキル	AI ツールの活用	プレゼンの組み立て	プロとしての契約書
チームプロジェクト	**各合宿でテーマに沿ったケースを2つず** 1つのストーリーに、現場で同時に起こる複数の課題を盛り込んだリアルな事例を議論し、当事者として論点を見極めて決める力を鍛えます		
オンライン講義	モダリティーの紹介 低分子・次世代抗体・オリゴ	バックオフィスの考え方 法務・会計・人事	

※内容・講師は変更となる場合があります

NQならではの、日本人の国民性に合った実践型のベンチャーイノベーションをお届けします

COPYRIGHT © 2026

NQ版COO育成プログラムの希望

NQ版COO育成プログラムはベンチャーの概念と「そもそも」を重視します

- ベンチャーを成功させる「地図」を持ち「やればできるんだ」と思ってもらいたい
- 大切な時間のコミットを本当に求められている治療薬に使ってもらいたい
- VCを含んだグローバルBioPharmaとの情報の格差で負けて欲しくない

本プログラムを通じてベンチャーに関わる仕事は本当に充実した仕事と思ってもらいたい

日本の国民性に合ったベンチャーイノベーションとはどんなものか？

それを皆さんと議論しながら編み出して行きたい。これがNQ版COO育成プログラムです

NQ版COO人材育成プログラムエントリーフォーム（ https://forms.gle/dapqdTnvr2qEQGz79）よりご応募ください。
締め切り：11月30日（月）正午

登録に必要な情報

1. 所属組織名（企業名・組織名）
2. 所属部署／役職名
3. 氏名
4. 氏名（ローマ字）
5. メールアドレス
6. 電話番号
7. 所属住所（都道府県のみ）
8. 現在関わっている研究・事業の内容
9. これまでの学術研究もしくは業務履歴（個人の経歴をweb等に公開できること
10. 英語対応レベル（読み書き・会話）
11. 本プログラムに期待すること

確認事項①：選定審査について*
別途で定める審査基準に沿って、必要に応じて対面審査（状況によってはリモート会議）を実施する場合があります。
確認事項②：集中講座（合宿）への参加について*
第２期としてNQ版COO人材育成プログラム受講者に選定された場合、集中講座は下記の日程でNakanoshima Qrossにて開催予定です。

- 第1回：2026年12月23日（水）– 24日（木）
- 第2回：2027年1月18日の週で調整中
- 第3回：2027年2月21日の週で調整中
- なお、3月初旬には成果報告会が開催されます。

未来の医療を、共に築く

Alloy Therapeutics
Cell Therapies | Japan

COPYRIGHT © 2026